

ひだご坊

No.312

2015年7月20日

発行 真宗大谷派 高山教務所
発行者 出雲路 善公
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ 照らされて

「憲法と真宗」

平川 宗信



〈略歴〉
一九四四年生まれ。東京大学法学部卒業。名古屋大学助教授、同教授、中京大学教授を歴任。現在、名古屋大学・中京大学名誉教授。

私は、法律学者ですが、その前に真宗念仏者です。そこを立脚点に、法律を真宗の視点から考え、社会活動にも関わってききました。

真宗に立って法律や社会の問題に取り組む人は、少ないようです。それは、真宗は「自己」を課題にするものであって、法律や社会を課題にするものではないとの考えが強いからだと思えます。しかし、真宗が自己を課題とすることは確かですが、「自己」は、法律・政治・社会の中に存在しています。法律・政治・社会と関わっている自己を問わなければ、自己を問うことにはなりません。私の師の和田稠先生は、人間は世(時代・社会)の中に生きる身(肉体)を

持った存在であり、身が世を作り世が身を作っているから、全ての政治・社会問題が念仏者の課題であると言われました。現在も、憲法、沖繩、原発、TPPなど、多くの問題があります。これに積極的に取り組むのが、念仏者でありましょう。

現在、大きな政治的争点として憲法問題があります。安倍政権は、現在の日本国憲法を自由民主党の「日本国憲法改正草案」(自民党改憲案)に替えようとしています。私たち真宗念仏者は、どちらを選ぶべきでしょうか。

日本国憲法の前文は、「日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理

想を深く自覚するのである。平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」と宣言しています。「恒久の平和」は「浄土」、「崇高な理想」は「本願」と重なります。そして、諸国民を信頼するのは、本願が世界の全ての人々に届いており、それが信じられるからでありましょう。

前文は、「われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認す

る」と続きます。阿彌陀仏の四十八願の第一願は、「地獄、餓鬼、畜生をなくす」という「無三悪趣の願」です。「地獄」は戦争、「餓鬼」は欠乏、「畜生」は専制・恐怖の下の隷従と言い替えられます。憲法前文は、第一願とも重なります。私は、日本国憲法は、本願を国家・国民の願いとする「本願国家宣言」だと思っています。

これに対して、自民党改憲案の前文は、「日本国は、(中略)天皇を戴く国家であり」、「平和主義の下、諸外国との友好関係を増進し、世界の平和と繁栄に貢献する」とした上で、「日本国民は、国と郷土を誇りと気概を持って自ら守り」、「経済活動を通じて国を成長させ」、「国家を末永く子孫に継承する」としています。

ここでは、国家が中心になり、国民には国土防衛、経済成長、国家の継承の役割が負わされています。これは、国民を国家に従属する「畜生」とするものです。また、経済成長を国家目標とすることは、「餓鬼」と言えます。平和主義もあいまいにされ、第九条は自衛戦争を認める規定に変えられ、国防軍の保持、国際的軍事行動への参加等を定める条文が新設さ

れています。これは、戦争・「地獄」を求める国を目指すものです。改憲案は、「地獄・餓鬼・畜生」の「三悪趣国家」を目指すものと言えましょう。真宗念仏者がどちらを選ぶべきかは、明らかです。とはいえ、近年、安全保障関連二法案に見られるように、立法・解釈で憲法を空文化する動きが急速に進んでいます。その現状を座視・黙認・支持しているのは、私たちです。三悪趣を生きている私たちが、現状を支えているのです。念仏して、そのような自己のあり方を翻し、本願に生きる生活を始めることが、願わ

れていると思います。

原爆の図 丸木位里・俊作

非戦平和展

戦後七十年を迎えて

パネル展 午前9時～午後5時

原爆の図 (丸木位里・俊作) 原寸大複製
◎原爆の図【水】7月27日～8月5日
◎原爆の図【火】8月6日～8月16日
場所：別院本堂

◎戦争と核の世紀を超えて
◎飛騨寺院戦争参加の歴史 ～梵鐘供出～
7月27日～8月16日 場所：寺宝館

講演会
日本国憲法と本願
—この国は何を捨て、どこへ向かおうとしているのか—
7月27日(月) 午後7時～9時
講師：平川宗信氏
(名古屋大学名誉教授)
場所：別院本堂

入場無料

ごあいさつ
高山教務所長・高山別院輪番
出雲路 善公

このたび六月二十九日付で高山教務所長・高山別院輪番を拝命いたしました。もとより浅学非才の身でありますので、どうか皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

いま、教えの前に自らを引き据えてみると、「教えに生きる」という点で、自分自身の有様、真宗門徒としての有様も憂慮すべき状況にあります。つまり、私たちが仏教を求めるような形をとって、その実仏教でないあり方になつていくという、深い問題がそこにはあります。いわゆる罪福信の問題であります。しかし罪福信に惑う私たちのあり方が、教法に照らされ、破られる中で自己に出遇う「転換」の一道を歩むご縁をいただくのではないのでしょうか。聞思して遅慮することなき道を皆様とともに歩んで参りたいと思ひます。

◎講義：午前9時～ 会場：御坊会館
8月1日～3日 講師：藤場俊基氏
講題：「化身土巻撰述の意義 ～三経一論の意～」
8月4日～5日 講師：平雅行氏 講題：「親鸞のあゆみ」

◎追弔会・講話：午後1時～ 会場：本堂・御坊会館
8月1日～2日 講師：藤場俊基氏
8月3日 講師：木越康氏
8月4日 講師：三島見らん氏 (西念寺・教化研究所研究員)
8月5日 講師：三枝正尚氏 (随縁寺・教化研究所員)

飛騨学場

宗教トラブル相談窓口(0577-13210763)

8月1日(土) 講師：洲岬孝雄氏 (料亭洲さき代表取締役)
講題：「飛騨の食文化と美意識」

8月2日(日) 講師：藤場俊基氏 (金沢教区常誦寺住職)
講題：「阿彌陀経のこころ」

8月3日(月) 講師：浅野翼氏 (浅野翼建築設計室)
講題：「これからの「まちづくり」」

8月4日(火) 講師：木越康氏 (大谷大学教授)
講題：「二つの白道」

8月5日(水) 講師：平雅行氏 (大阪大学名誉教授・京都学園大学教授)
講題：「親鸞とその時代」

於：高山別院 午前6時30分～

夏の日々講座

8月11日(土) 8月11日(土) 20日(日) 鍋山久美子氏 [寶園寺]

8月1日(土) 8月1日(土) 10日(日) 山本憲人氏 [寶園寺]

8月11日(土) 8月11日(土) 20日(日) 鍋山久美子氏 [寶園寺]

「ひだご坊」は毎月20日に発行されます。

私を照らす

ひかりの言葉 ⑨

酒井 義一

戦後七〇年の夏を迎えた今、私を照らすひかりの言葉の前にたずんでみます。

人の世を作ったものは神でもなければ鬼でもない。やはり向う三軒両隣りにちらちらするただの人である。

国のやることは間違いない、私たちは心のどこかでそう思い込んではいないでしょうか。そして、結果的に政治のことに無関心になつてはいないでしょうか。今、国会で審議されている安全保障関連法案のことです。

国を作るのは一部の政治家だけではなく、私たち一人ひとりでもあります。その動きに何も言わないということ、つまり無関心であるということは、結局のところ、みんながそれに賛成し、そういう国を作ったということに通じます。次の世代に顔向けができる国になつていくのでしょうか。この国の未来を作るのは私たち一人ひとりです。

正義を掲げる手が武器を握る 澤面 宣了

安全保障関連法案には、よくわからない点が多々あります。国民不在のまま、はじめに結論ありき、という感が否めません。その根底には、国の安全や平和を願うこと

が、武力で身を固めて武器を握ることだという姿勢があるようです。まさに正義や平和を掲げる手が、武力や武器を握るということです。そこに大きな矛盾があります。その先に、本当に真の平和は訪れるのでしょうか。

人間の本当の願いは「通じ合つて生きたい」、これだけなんです。よ

竹中智秀

人間は自分勝手な存在です。自分のことを第一に考えるあまり、時に他者を踏みつけにすることもあります。そして、そのことに痛みすら感じられないのです。

しかし、そんな自分勝手な人間存在のその奥底に、「通じ合つて生きたい」という本当の願いが眠っている、というのです。

他者を力で押さえつけるといふ在り方ではなく、対話を重ね、他者と通じ合つていく世界を、人は心の奥底で願っているのではないのでしょうか。仏法はそのことを、絶えず私たちに呼びかけ続けています。

国豊かに民安し、兵戈用いることお釈迦さま

国が本当に豊かで、そこに生きる民が安らかであるためには、兵(軍隊)や戈(武器)で身を固めることは、無用なこと。お釈迦さまは『仏説無量寿経』でこのように説かれました。

まるでその逆を行くかのように、この国は今、積極的平和主義という美名のもと、武力で身を固め、戦争に参加できる国になろうとし

ています。

しかし、武力で平和を築くことはできないのです。力で相手をねじ伏せてはいけません。それでは、国が真に豊かにならず、民が安らかではない世界となつてしまふからです。

あなたへのメッセージ

人間は弱い存在です。自分の中に怒りや腹立ちの心があります。そのような心が、やがて拡大し、争いや戦争へとつながっていくのです。

そんな弱さを抱える人間だからこそ、仏さまの教えが、私たちに照らし続けています。

この国が、再び戦争のできる国になつてはいけません。人々と通じ合う世界を願うことをあきらめず、そのことを妨げる動きには、毅然とした態度を表明すること、私のこの夏の宿題とします。あなたはどのようにこの戦後七〇年を迎えますか？



今回は藤場芳子さんの「女と男のナムアミダブツ⑨」です。

ご回壇案内

- 7月 26日(日) 蓮光寺[馬瀬] 西教寺[朝日町]
8月 8日(土) 秋聲寺[八日町] 18日(火) 西正寺[清見町] 常徳寺[白川村] 19日(水) 西光寺[清見町] 浄楽寺[白川村]

夏休みおつとめ会開催寺院

- 【高山】 本教寺 (0577-32-1748) 夏休み中(お盆まで) ラジオ体操終了後 秋聲寺 (0577-33-9324) 毎日 ラジオ体操終了後 西蓮寺 (0577-33-8090) 7月27日(月)~31日(金) ラジオ体操終了後 随縁寺 (0577-32-2567) 7月18日(土)、25日(土) (会場:随縁寺) 午前7時30分~ 7月23日(木) (会場:下切町公民館) ラジオ体操終了後 誓願寺 (0577-32-5241) 7月21日(火)~30日(木) ラジオ体操終了後 【丹生川】 還來寺 (0577-78-1071) 7月21日(火)~31日(金) ※土日を除く ラジオ体操終了後 【国府】 南春寺 (0577-72-2836) 7月21日(火)~31日(金) ラジオ体操終了後(午前6時50分頃~7時20分頃) 西念寺 (0577-72-4585) 7月21日(火)~28日(火) (会場:西念寺) 7月21日(火)~25日(土) (会場:金桶公民館) ラジオ体操終了後 【荘川】 浄念寺 (05769-2-2094) 7月21日(火)~8月22日(土) 午前6時30分~ 寶藏寺 (05769-2-2124) 7月21日(火)~24日(金) ラジオ体操終了後 蓮勝寺 (05769-2-2043) 7月21日(火)~8月1日(土) (会場:蓮勝寺) ラジオ体操終了後 8月4日(火)~11日(火) (会場:下野々保公民館) 8月17日(月)~22日(土) ラジオ体操終了後

【白川】 常徳寺 (05769-5-2029) 7月25日(土)~8月2日(日) ラジオ体操終了後~7時30分まで

子ども会開催寺院

- 【鉄砲町】 真蓮寺 (0577-34-2507) 隔月1回(土曜か日曜) 午前9時~11時30分 ※寺報にて案内します。一度来てくれた方にはハガキで直接案内します。 【岡本町】 願生寺 (0577-32-0032) 毎月1回(土曜日) 午前9時~10時30分頃 ※冬季は午前9時30分 ※一度来てくれた方には郵便にて直接案内します。 【山口町】 了心寺 (0577-32-5956) 毎週日曜日 午前8時30分から 【一之宮】 往還寺 (0577-53-2004) 8月23日(日) 午前8時~9時 ※9月以降も毎月1回開催します。 【久々野】 久々野教会 (0577-53-2004 往還寺) 8月22日(土) 午前8時30分~9時30分 ※9月以降も毎月1回開催します。 【萩原町宮田】 賢誓寺 (0576-55-0747) 子ども会 7月28日(火) 午前9時~12時 おとまり会 8月17日(月)~18日(火) 午後4時~翌日9時 【小坂】 浄福寺 (0576-62-2208) ① 7月24日(金) 午前9時30分~11時30分 ② 8月11日(火) 午前10時30分~12時30分 【朝日】 長圓寺 (0577-55-3048) 不定期(土曜か日曜) 午後1時30分~

ご夏坊まつり

- 盆踊り (飛騨やんざ、高山音頭) ご回壇踊り紹介
東山中学吹奏楽部 (午後6時~)
飛騨高山太鼓団童心 (午後7時~)
飲食コーナー (生ビール、焼鳥各種、串カツ) 焼きそば、かき氷他
非戦平和展 ~戦後70年を迎えて~
坊主Bar 法話あり

高山別院 高山市鉄砲町6番地 2015.8.16(日) 午後5時~(雨天決行)

- 子ども遊び広場 (射的、ストラックアウト) ヨーヨーフリ他
東北味の市 すえひろ 東北名品販売、玉コン、からあげ他
はんちくていのクレープ
国府町野村農園の無農薬野菜 懐かしい伝統野菜販売

主催:高山別院(飛騨仏教青年会) 協力:鉄砲町 大門町 下一之町 馬場町 若達町1 若達町2 高山音頭会 安川商店街 facebook.com/hidabussei